

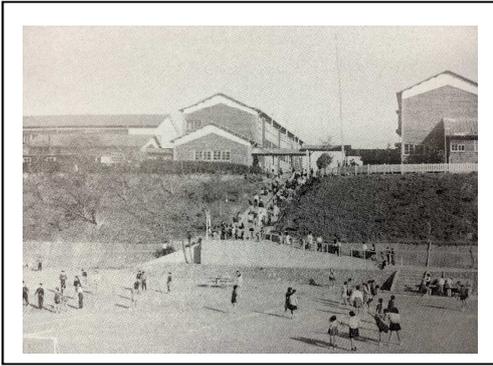


学校だより

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/byobugaura/>

6 月 号
令和 5 年 5 月 3 1 日
横浜市立屏風浦小学校
校長 市岡 直也

68歳を迎えた屏風浦小学校 ～つながりを大切に これからも～



副校長 下川 真智子

5月11日(木)に、屏風浦小学校は68回目の誕生日を迎えました。歴史ある学校である屏風浦小学校は、祖父母の代から同じ小学校に通っているというご家庭も多い一方で、新しくこの地に越してきて、子育てをしている方もたくさんいらっしゃる学校です。今回の学校だよりでは、屏風浦小学校の歴史について触れたいと思います。

屏風浦小学校は、お隣の杉田小学校の児童が増えたということで、1956年4月1日に、開校し、5月11日に創立開校式典が行われました。その当時は、学校の前を走る国道16号のすぐ目の前まで海が迫り、学校の高台からは、東京湾を行きかう船や、のりの養殖をする場所が一望に見える、風光明媚なところだったそうです。また、昔は校庭に続く階段も上校庭から一直線に伸びていました。屏風の形が特徴の今の鉄筋校舎は、1972年に4号棟まで完成し、1973年に校舎落成記念式典が行われました。近頃では体育館の証明のLED化等、時代の変化と共に少しずつ変わってきていることが分かります。

歴史ある学校なので、私の先輩の先生方にも、屏風浦小学校に勤務されていたという方がたくさんいらっしゃいます。その方々が、ロクにおっしゃるのが、地域のつながりのすばらしさです。私も昨年度からこちらの学校に赴任させていただいて、最初に感じたことが、そのことでした。そして、そのつながりを作る源となっているのが、小学校での子どもたちのつながりだということを、改めて感じさせてくれたのが、5月8日(月)の創立記念式でした。その日は、3年ぶりに全校児童が体育館に集合して一緒に朝会を行った日でもありました。校長先生の「おはようございます。」のあいさつに続いて、子どもたちの「おはようございます。」の元気な声が響いた体育館には、きらきら光る大輪の花が咲いたように感じました。「たくさん子どもたちが顔を合わせ、つながり、何かができるということは、なんてすばらしいのだろう。」と強く感じる瞬間でもありました。

5月11日(木)に令和5年度の第1回目の学校運営協議会が開かれ、8月26日(土)に「ほっと・ナイト・夢まつり！」の実施が決定しました。新型コロナウイルス感染症対策のために、この3年間中止を余儀なくされてきた中で、学校内でその歴史を知る人も少なくなりました。私も含めてたくさんの方が初めて携わる「ほっと・ナイト・夢まつり！」は、以前のままでないかもしれませんが、学校の姿が歴史と共に変化したように、今の時代にあった「ほっと・ナイト・夢まつり！」を実現できたらと思っています。そして、地域と学校、地域と子どもたちの素敵なつながりや、気持ちを幸せにする元気な笑顔は変わらぬまま、70周年に向けて受け継いでいきたいと思っています。これからも、私たちの屏風浦小学校をよろしく願いいたします。